

令和6年第2回伊賀市議会定例会 令和7年6月定例月会議 一般質問通告者一覧
【発言予定日 6月12日（木）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
1	桃 井 弘 子	1 自治協との協働と役割分担について 2 伊賀市の経営について 3 キャリア教育について
2	浅 川 友 和	1 こども家庭センターなんでも相談ダイヤルの周知 (1) 対象の市民と相談できる内容 2 不登校児童の安心な学び場所と支援員拡充の提案 (1) 不登校児童の人数の推移 (2) 伊賀市の重点課題 (3) 崇広中学校、上野南中学での取り組みと結果 (4) 校内教育支援センター拡充と適切な人員の配置 (5) 教育に対する市長の見解とこれからの展望 3 新規消防団員確保のための地域との連携の必要性 (1) 現状の新規消防団員確保の課題 (2) 新規消防団員、確保の取り組み (3) 消防団と地域の連携の提案
3	寺 村 京 子	1 未満児（0，1，2歳）保育の私的待機児童対策の進捗について (1) 私的待機児童の今年度の状況 (2) 地域別の保育定員の考え方について (3) 令和8年度「こども誰でも通園制度」導入に向けた今年度取り組みについて (4) 保育関連政策の中での私的待機児童問題の位置づけについて 2 小学校のプール授業の今後のあり方について (1) 小学校プール授業の現況について（民間委託や指定管理の実施状況） (2) 今後民間委託等を進めていくにあたっての課題と解決方法 3 ふるさと納税の今後について (1) ふるさと納税の5年間の寄付額増減についての考察 (2) ふるさと納税中間事業者に期待する役割 (3) 今後の寄付額・地場産品の振興等目指す方向性、目標について

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
4	上 田 宗 久	1 伊賀米の未来 (1) 集落営農組織などの耕作面積拡大の現況と今後の課題 (2) 多面的機能支払交付金事業活動団体に対する評価 (3) 水利組合員数減少に対する灌漑施設と農業用水路 (4) 集落営農組織の転換期をどう乗り越え継承していくか (5) 夢のある農業・若者の担い手創出につなげる市長の熱い思いは 2 伊賀流住民自治の進展と今後の課題 (1) 地区市民センターの指定管理者制度導入の成果を問う (2) 「地域まちづくり計画」の推進とモニタリング (3) 住民自治協議会との協働に向けて
5	西 田 方 計	1 「学校みらい構想基本計画」の背景にある社会教育への認識を問う (1) P T A活動についての認識は (2) 「地域学校協働活動」についての認識は (3) 住民自治協議会と学校との関係についての認識は (4) 社会教育人材の確保や育成への認識は 2 県立高校再編に対する伊賀市の認識を問う (1) 県教育委員会が進める高校再編についての認識は (2) 伊賀市の将来を賭けた提案を
6	山 下 典 子	1 働きやすい職場環境について (1) 育児休業制度取得向上の取組 (2) 介護休暇 (3) プロフェッショナル人材の育成 2 マイナ保険証について (1) 利用状況 (2) 資格確認書の交付 3 J-クレジット制度活用による森林整備について 4 集会所の耐震化について

【発言予定日 6月13日（金）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
7	宮 崎 栄 樹	1 持続可能な住民自治に向けて (1) 「住民自治のあり方検討」の現在と今後 (2) 財政支援のあり方の検証 (3) 地域指定型のふるさと納税の導入 (4) 集落支援員制度の導入 (5) 自治会運営に対する支援 2 公営住宅長寿命化の今後と転居を求められる入居者への対応は (1) 公営住宅長寿命化計画の見直し (2) 入居者の不安にどう対応するのか
8	内 原 篤	1 減り続ける若者と伊賀市の将来について (1) 伊賀市の人口減少の要因 (2) 人口減少に対しての過去の取り組み (3) 今後、若者人口を増やす取り組み (4) 結婚サポートに対する取り組み (5) 若者への結婚サポート事業
9	北 森 徹	1 伊賀市が目指す幼児教育について (1) こども園化を考えている意味 (2) 現状の幼稚園の保護者の意見 (3) こども園化にするにあたり問題・課題 (4) 保育士不足の原因 (5) 今後の伊賀市の幼児教育のビジョン 2 中学生の部活動の意義について (1) 部活動に対する学校の評価 (2) 各学校の生徒数減少により、自分がやりたい部活が出来ない現状 (3) 部活動の地域移行への現状と課題 (4) 伊賀市が目指す理想の部活動

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
10	陶 山 美 佐	1 介護予防・日常生活支援総合事業について (1) 要介護者への訪問型サービスBの取り組みについて (2) 住民主体ですすめていくしくみづくり (3) 「市歌」や「忍にん体操」をもう一度普及し市民と共に健康づくり 2 災害時の自助具について（高齢者、難聴者） (1) 緊急時に自分を守る自助対策 3 青山保健センター運動施設プール公募型プロポーザルについて (1) 老朽化が進んでいるプールを最低限修繕し、公募型プロポーザルされませんか？
11	山 口 康 子	1 包括的性教育について (1) 市の「いのちの安全教育」の取り組み（幼児期、特別支援教育、小中学校） (2) 教職員や保護者への研修 (3) 市民向けの研修会 (4) 市として包括的性教育の受け止め方、市独自にモデル校を指定し先進的な取り組みの考えは？ (5) 性に関する相談支援体制 2 伊賀市の公共バス制度間格差について (1) 廃止代替バスと地域交通バスの制度間格差 (2) 制度間の公平性の観点から見直しの予定は？ 3 ツキノワグマ出没と対策について (1) 伊賀市内での出没状況と対応体制 (2) 民間団体との契約締結の必要性和今後の方針 (3) 国や県の支援制度の活用 (4) クマ出没の市民の訓練体制 (5) 市民の情報提供と啓発活動
12	森 中 秀 哲	1 市民への説明責任を果たし、市民参加で進める「ごみ処理広域化」検討 (1) 広域処理移行はいつから (2) 処理施設はどこに (3) 公営か民間活用か (4) 分別・リサイクル・ごみ減量はどうなる (5) 「参加と協働」「人づくり」の実現 2 中心市街地「旧ふれあいプラザ」跡地の早期活用を

【発言予定日 6月16日（月）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
13	西 口 和 成	1 よりよい人権施策でまちづくりを 2 新生活スタートアップ応援事業について
14	北山 太加視	1 人権の取り組みについて (1) 差別事案の掌握状況について (2) 差別事案の周知について (3) 人権意識高揚のための具体的な取り組みについて (4) 人権同和教育について 2 浸水被害対策の進捗について (1) 河川改修状況について (2) 内水排水対策について
15	大 石 亮 子	1 こどもの権利と食育推進の視点から、保育所給食のあり方を問う (1) 保育所給食のあり方について (2) 脱脂粉乳提供の見直しを (3) 主食提供の導入を 2 阿山地域の地域力を活かしたまちづくりへ ～住民参画による公共施設の再活用を (1) 地域からの提言・要望への対応は (2) 伊賀市のまちづくりにおいて、阿山地域の位置付けは (3) 住民参画による検討体制を (4) 未来の公共施設のあり方とビジョンについて
16	森 川 徹	1 これからの消防行政 (1) 今後の常備消防の統合と救急搬送 (2) 今後の非常備消防のあり方
17	百 上 真 奈	1 地下水条例の運用状況と附帯決議について 2 水道事業の現状と経営改革について 3 子どもの権利を守る包括的性教育とジェンダー平等について 4 介護保険サービス提供体制の充実
18	市 川 岳 人	1 市長の政治姿勢について (1) 飛び出す広聴広報 (2) 危機管理 (3) 伊賀市の優先課題と対策